

論文番号 77

担当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題名 (原題/訳)

Dose response of laboratory markers to alcohol consumption in a general population

一般住民におけるアルコール消費量に対する量・反応関係のある検査指標

執筆者

Sundvall J, Olsson P, Massot N, et al.

掲載誌 (番号又は発行年月日)

American Journal of Epidemiology 2000; 152:747-51

キーワード

飲酒、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ、トランスフェリン

要旨

アルコール飲用量に対する炭水化物欠乏トランスフェリン、 γ -グルタミルトランスフェラーゼとその両方を結合した指標、 γ -CDT の量・反応関係を一般住民で調査した。調査対象は、フィンランドの住民からの性、年齢別に層化抽出した7,000人弱の人々に、アルコール飲用量と三つの指標との量反応関係を検討した。BMI はトランスフェリンとは負の関連を、 γ -グルタミルトランスフェラーゼ、 γ -CDT とは正の関連を示した。アルコール消費量とは、三つの指標の中で、 γ -CDT がもっともよい指標となった。